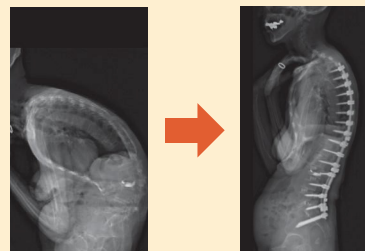
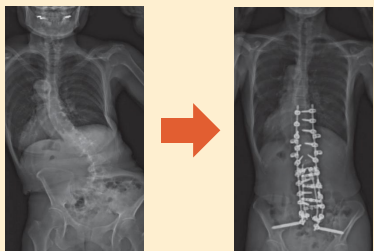


適切な検査・診断・治療・リハビリで、  
よりよい毎日を送りましょう。

近年の脊柱変形手術

以前より安全性・正確性・矯正率が飛躍的に増しています。背骨や腰に痛みや違和感を覚えたら、早めの受診をお勧めします。

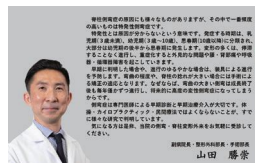


「sterEOS (イオス) イメージングシステム」導入施設

脊柱側弯症に対する診断および治療には専門的な知識や技術、経験が必要となります。特に小児は成人より放射線感受性が高いためレントゲン撮像を減らすことが重要です。この装置では放射線量を従来のX線撮影の1/10以下、CT撮影の1/20~1/170にまで低下させて全脊柱を撮影することができます。



背骨や腰曲がりでお悩んでいる方はご相談ください。



もっと詳しく



横浜市 側弯

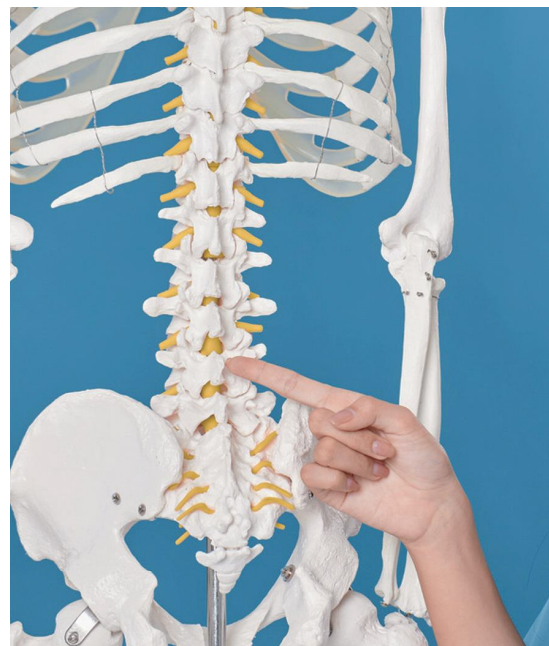
作成年月：令和8年4月  
制作：横浜市立脳卒中・神経脊椎センター  
電話：045-753-2500  
監修：山田 勝崇  
(副病院長・整形外科部長・手術部長)

せき ちゅう そく わん しょう  
脊柱側弯症ってどんな病気？

TAKE FREE

せき ちゅう そく わん しょう  
脊柱側弯症

ってどんな病気？



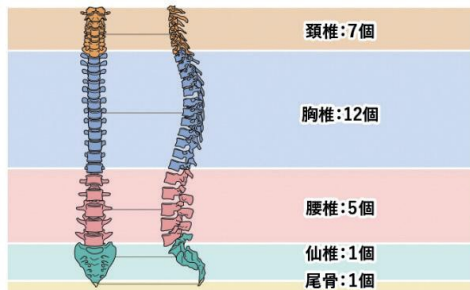
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター



# 脊柱側弯症とはどのような病気か 知ることから始めましょう。

## 脊柱について

脊柱は頸椎（首の部分）、胸椎（胸の部分）、腰椎（腰の部分）、そして仙椎・尾椎から成り立っています。脊柱を横から見ると、頸椎、腰椎は前方に弯曲（前弯）、胸椎は後方に弯曲（後弯）しています。

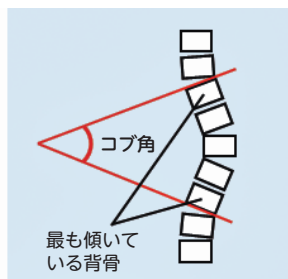


日本側弯症学会 HP より転載

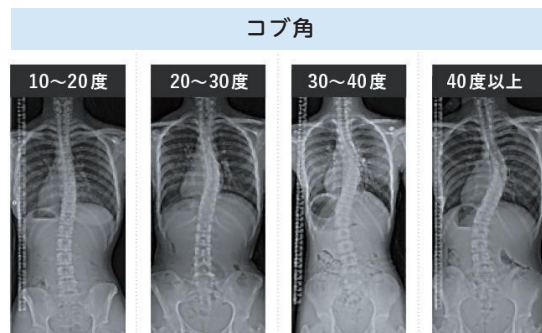
## 脊柱側弯症

脊柱を正面から見た場合に、左右に曲がり、さらにねじれが伴う病気です。側弯症になると、肩や腰の高さが左右で違ったり、肋骨がこぶのように盛り上がったります。症状が進むと、何もしていなくても腰が痛んだり、肺が押されて息苦しさを感じたりします。

弯曲の大きさは、上下で最も傾いている背骨どうしのなす角度（コブ角）で判断しますが、この角度が10°以上であるものが側弯症です。側弯症は手術が必要と判断されるような角度（40°～50°以上）になっても、痛みなどの症状を出すことはまれです。しかし、進行すると、健康に直接影響を及ぼすような障害を引き起こすことがあります。



▲コブ角の計測方法



日本側弯症学会 HP より転載

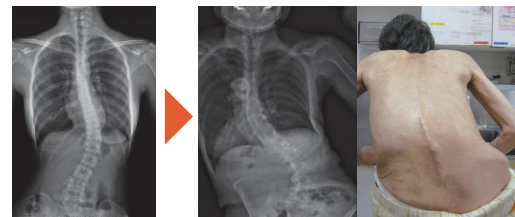
コブ角	治療方針
～20-25°	経過観察
25-40°	装具療法を実施 ※30°を超える場合は成人後に悪化することもある
40°～	手術治療を考慮

▲コブ角ごとの治療方針の目安

# 腰曲がりを「年だから」と あきらめないで。

## 成人脊柱変形

おとなの脊柱側弯症・腰曲がりのことで、超高齢社会ともなって急速に増えている病気です。背骨が曲がるため、腰痛が続いて日常生活に支障をきたしたり、体のバランスが崩れて転びやすくなったりします。



## 治療

症状が軽かったり日常生活で困っていなければ医師による運動療法や経過観察で十分です。しかし、重度の腰曲がりは必ず進行します。腰曲がりによる腰痛で、①～③のような症状に毎日悩んでいる方は手術による改善の可能性があります。腰曲がりは「年だから」ではなく「病気」であることを認識して下さい。「病気」であれば治療できる可能性があります。まずはご相談ください。

症状  
①

台所の仕事も、常にひじを  
どこかについていないとだめ



症状  
②

歩くとすぐに  
休んでしまう



症状  
③

支えがないと歩けない

